

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	ソラシックエッグを用いた気胸の外来ドレナージ治療成績に関する後方視的検討		
1. 研究の目的と方法	気胸の治療は、余分な空気を排出する事（脱気）が必要です。通常は径の太い管（胸腔ドレーン）を挿入し入院が必要になります。しかし、入院が必要ない携帯型の胸腔ドレーンを用いた外来治療の有用性の報告が散見されており、当院ではソラシックエッグ®(住友ベークライト製、以下 TE)を用いて気胸に積極的 TE を用いて患者負担の少ない外来での気胸管理を行なっています。当院外来での TE 留置症例について、入院して通常の胸腔ドレーン症例と比較し、有用性・安全性について検討することで気胸治療における患者負担を有効に減らす可能性があります。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年1月1日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	気胸の患者さんで、2019年4月1日～2023年11月30日の間に慈恵医大葛飾医療センターにてソラシックエッグ®、入院ドレナージの治療（検査）を受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	患者基本情報：性別、年齢、併存疾患、身長、体重、喫煙歴 疾患情報：気胸の推定発症日、TE留置日、抜去日（手術移行群は入院日、手術日、退院日）、最終受診日、再発、再入院、再留置の有無。 画像検査結果：CT、レントゲン	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 呼吸器外科
		氏名	荒川 智嗣
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 呼吸器外科 浅野 久敏	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2024年5月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵医科大学葛飾医療センター 呼吸器外科 窓口担当者：助教 浅野 久敏（あさの ひさとし） 電話番号：03-3603-2111（内線 2844） 対応時間：平日 09:00 ～ 17:00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。